

HASHIKAMA 広報 はしかみ

2002年(平成14年)

11 月号

November
No.518

発行/階上町 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 編集/企画課 TEL(0178)88-2113 FAX(0178)88-2117

米作りは楽しかったよ
〜学校田の稲刈り作業を行なう〜



大蛇小学校

祝 百周年!!

小舟渡小学校

百年の節目を皆で祝いました

本町浜手地区にある小舟渡小学校と大蛇小学校の2校が今年創立百周年を迎え、それぞれの学校にて百周年記念式典がとり行なわれました。

式典では、これまでの歴代の校長先生や、歴代のPTA会長ら、各校において功績のあった方々に感謝状が贈呈され、児童によるよこびの詩がうたわれました。

両校とも式典には在校児童・職員・来賓の方々のほか、ここを母校とする地区の方々も出席。あらためてこれまでの歴史を振り返り、百年の記念を祝いました。それぞれの校長のあいさつは以下のとおりです。



小野寺信雄校長のあいさつ

「ふるさとのありがたさを忘れず、太平洋の荒波に負けないような、心身ともに強い子供に育てて欲しい。先輩方の輝きを大事にし共に力を磨き、共に輝きましょう」



中村規生校長のあいさつ

「これからの国際社会の中で、夢と誇りをもってふるさとを語れる人になって欲しい。これからいろいろな経験をしていくと思うが、失敗を恐れずチャレンジしていこう」

朝食は一日の活力源 家族そろって食事を

～道仏小学校4年生が親子で朝食の大切さを学ぶ～

9月28日、道仏小学校の親子レクリエーションにおいて学童朝食欠食改善事業が行なわれました。

町の食生活改善推進員が講師となり、朝食の重要性や家族そろっての食事の大切さを伝え、実際に調理実習を行ないました。

欠食の状況を調査してみると「朝食を一週間に3回以上とらない」という児童が25人中3人いることが分かりました。

実習では子供でも簡単に作れる朝食を作ってみました。児童だけでなく参加した親も朝食をとる習慣の大切さを再確認することができたようです。





◆1位となった地代所さん(中央)と2位の薦林さん(左) 3位の浜浦くん(右)

■弁士名簿・成績表

成績	演題	氏名	学校名
第1位	宝物 見つけた	地代所美穂	小舟渡
第2位	心の支え合い	薦林奈津美	階上
第3位	家族の絆	浜浦 雅大	赤保内
努力賞	苦しさを乗り越えて	宮川 愛彩	石 鉢
//	お母さんのためにできること	西山 彩香	金山沢
//	いつか 私も	大下 優加	登 切
//	勇気から得た自信	工藤 真美	道 仏
//	あいさつを伝統に	新井田香織	大 蛇

第28回 階上町小学生防犯弁論大会

～それぞれのテーマで 自分の考えを発表～

10月7日赤保内小学校にて、第28回階上町小学生防犯弁論大会が開催されました。

大会には各小学校の代表である8人の弁士が出場。自分自身の体験を通じ、感じたり考えたりしたことを堂々と発表していました。

大会の結果、真冬の大雪のために停電となったふとしたきっかけから、それまであまり会話のなかった祖母との会話が弾み、家族との会話の重要性を知ったという出来事を発表した小舟渡小学校の地代所美穂さんが第1位となりました。

また大会では階上中学校の小枝真一君、八戸少年地区防犯弁論大会で第2位となった道仏中学校坂本光代さんによる模範弁論も発表されました。

会場となった赤保内小学校の児童らは弁士によるそれぞれの考えを耳にし、いろいろなことを考えるきっかけとなったことでしょう。

階上町小中学生派遣事業報告会

町内小中学校の代表が国内外へ派遣された事業の報告会がそれぞれ9月17日、27日にハートフルプラザ・はしかみにて行なわれました。

この事業は、①本町の自然や産業、文化を学ぶこと②派遣地の自然や産業、文化を学ぶこと③集団行動を通じて仲間とかかわり、仲間の大切さを学ぶこと等を目的としています。8月に小学生は秋田県稲川町へ、中学生はアメリカのシアトルへ派遣されました。

中学生は派遣者全員で、スライドやビデオを利用して英会話研修の苦労の様子やシアトルマリナーズの試合を観戦した様子などを、小学生は工芸体験や



稲庭小学校との交流会の様子など、自分で書いた作文を発表しました。

児童・生徒らはひと夏のこの経験を通じて1回りも2回りも大きくなった姿を両親らに見せていました。

◆参加者によるレクリエーションの様子



第25回 三戸郡身体障害者 福祉研修会開催

10月9日、三戸郡身体障害者福祉研修会がハートフルプラザ・はしかみにて行なわれました。

これは郡内10町村の身体障害者の方々を対象に、一層の自立更生・福祉の向上に励み、相互の交流を図ることを目的に毎年行なわれているものです。

研修会では、来年4月から始まる支援費制度の説明、「共に生きる」という命題での基調講演、そして参加者自らによる踊りが披露され、皆さん楽しい一日を過ごしていました。

市町村合併について考えてみよう

地域将来構想住民説明会 開催のお知らせ

八戸地域の7市町村（八戸市、階上町、福地村、南郷村、名川町、南部町及び田子町）が合併した場合のまちづくりの方針となる「地域将来構想」が完成しました。

下記の日程で「地域将来構想」の説明会を開催しますので、各家庭に配付する概要版をご持参の上、ご都合の良い会場にお越しください。

市町村合併は、住民一人ひとりに関わる大きな問題であることから、仮に合併した場合の新市の姿について皆さんに説明し、市町村合併に対するご意見を伺いたいと考えておりますので、一人でも多くの参加をお願いします。

日程及び会場（9会場）

地 区	日	時	会 場
角 柄 折	11月21日(木)	午後6時30分～	新 田 集 会 所
鳥 屋 部			
金 山 沢	11月22日(金)	午後6時30分～	金 山 沢 福 祉 館
赤 保 内	11月23日(土)	午後6時30分～	ハートフルプラザ・ は し か み
耳ヶ吠西			
耳ヶ吠東			
石 鉢	11月24日(日)	午後6時30分～	蒼 前 集 会 所
蒼 前			
野 場 中			
田 代	11月25日(月)	午後6時30分～	田 代 福 祉 館
晴 山 沢	11月26日(火)	午後6時30分～	登 切 福 祉 館
平 内			
荒 谷	11月27日(水)	午後6時30分～	老 人 憩 の 家
大 蛇			
追 越			
榊	11月28日(木)	午後6時30分～	道 仏 公 民 館
駅 前			
道 仏			
小 舟 渡	11月29日(金)	午後6時30分～	潮 風 荘

各地区のゴミの収集日

地区名	資源物の日 空缶・空ビン ペットボトル	新聞紙・雑誌 古布・段ボール	燃える ゴミ	燃えない ゴミ	粗大ゴミ
中央・西部 地区	毎週 月曜日	毎月 第2・4 水曜日	毎週 火曜日 一部金曜日可 (蒼前西の一部)	毎週 月曜日	11月21日 (木)
東部地区	毎週 水曜日	毎月 第2・4 金曜日	毎週 木曜日	毎週 水曜日	11月19日 (火)

※燃えるゴミは、必ず **透明な袋** に入れて、

※燃えないゴミは、必ず **青いかご** に入れて、※缶やビンは **オレンジのかご** に、

※新聞、雑誌は **ひもを十字にしぼって**、※ペットボトルは **透明な袋** に入れて下さい。

ゴミは収集日に、
朝 8 時までに出そう

スプレー缶は
穴をあけて
出そう

ペットボトルは
キャップをとって
出そう

ジュース缶は
水ですすいで
出そう

冷蔵庫・エアコン・テレビ・洗濯機は 収集しませんので絶対に出さないで下さい

消費者が支払う料金(家電小売店へ引き取りをお願いする) (消費税別)

品目	リサイクル 料金	収集運搬 料金	備 考
冷 蔵 庫	4,600円	各小売店 が設定	家電リサイクル法 (特定家電用機器 再商品化法)によ り、左記の4品目 は、粗大ごみとして ではなく、大切な資 源として扱われリ サイクルされます。
エ ア コ ン	3,500円		
テ レ ビ	2,700円		
洗 濯 機	2,400円		

【問い合わせ】 町民課生活環境係 ☎ 88-2119

育てよう 一人一人の 人権意識

12月4日から10日までは人権週間です

12月10日は世界「人権デー」です。我が国では、「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」と定めています。

町では、この人権週間にちなんで次のとおり「特設人権相談所」を開設しますので、毎日の生活の中で困っていること(たとえば夫婦・親子等の家族関係や相続・遺言等の財産問題、土地や騒音等の近隣関係、子どものいじめ・体罰、差別行為等)などについて、町の人権擁護委員が相談に応じます。

相談は無料で秘密は守られますので、この機会に是非ご利用ください。

●特設相談所開設●

と き：12月5日(木) 午前10時～午後3時
と ころ：蒼前集会所
相談担当者：町の人権擁護委員

●町の人権擁護委員●

伊 藤 一 男(鳥屋部)	☎ 88-2667
鹿 原 千 ヨ(蒼 前)	☎ 88-3392
橋 場 敏 雄(榊)	☎ 87-3922
野 沢 直 子(耳ヶ吠西)	☎ 88-3133
北 城 忍(榊)	☎ 87-3678

青森県地方務局と青森県人権擁護委員会連合会では、次の強調事項を掲げ、町民の皆さんに人権尊重思想の大切さを呼びかけています。

- ◎平成14年度啓発活動重点目標
- 「育てよう 一人一人の 人権意識
一身近なことから人権を考えてみませんか」
- ◎女性の地位を高めよう
- ◎子どもの人権を守ろう
- ◎高齢者を大切にすることを育てよう
- ◎障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ◎外国人の人権を尊重しよう
- ◎刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ◎犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ◎インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ◎性的志向を理由とする差別をなくそう

●新人権擁護委員紹介●



法務省は、人権擁護委員に北城忍氏(64・榊)を10月1日付けで委嘱しました。

秘密を守り、町民の皆さんの人権に関する悩みや苦情などに応じますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】 青森県地方務局八戸支局 ☎24-3346

町民課戸籍係 ☎88-2119(内線171)

水道水や給水器具に関する悪質・不審な業者について

次のような事例が起きていますので、ご注意ください。

◎水道局（企業団）から委託をされたように装って、

1. 「給水管や浄水器の点検を行う」などと言って、給水管の清掃を勧め、高額な料金を請求しています。
2. 塩素に反応する薬を使って水質検査を行い、色が変わったことを強調し、高額な浄水器の訪問販売をしています。
3. 水道使用のアンケート調査といって、家族構成や年齢等を戸別訪問や電話で聴取しています。

など、きわめて巧妙かつ多岐にわたっています。

※ ご家庭の給水管は、お客様の財産ですから、給水管の点検や清掃などを水道企業団が業者に委託することはありません。（当企業団の給水装置（器具）の点検サービス月間においても、お客様からご依頼がなければ何うことはありません。）

なお、水道水には、消毒のため塩素が入っており、塩素に反応する薬を入れると必ず反応し色が変わります。

当企業団では、安全な水をお届けしており、浄水器の販売は一切行っていません。また、戸別訪問や電話によるアンケート調査も行っていない。

もし、不審に思いましたら、下記まで、ご連絡ください。悪質な場合などは、町の消費生活相談窓口や警察署に通報・ご相談ください。

【問い合わせ】 水道企業団給水課 ☎ 70-7040 FAX 70-7048

学びの王国！ はしかみキャンパス講演会



家族という実験 ～夫から、妻から見た、夫婦・家庭のきずなとは？～

- 期日：12月16日（月） 18：30～20：00
- 場所：ハートフルプラザ・はしかみ
- 演題：世界を旅して学んだことーシルクロード・ユーラシア絆の旅ー
- 講師：川端裕介・るり子 夫妻
1989年3月～90年6月まで夫婦でシルクロード・自転車の旅をする。
1999年4月～2000年12月、二人の娘を加えた家族でユーラシア大陸を横断。
仕事をやめ、学校も休み、夫婦・家族のきずなを見つめなおすために旅に出た川端さん一家。長期にわたる旅から帰国した家族が得たものは？
著書『ちゃりんこ西方見聞録』（朝日新聞社刊、夫婦共著）

● 入場無料・申込不要です。どなたでもお気軽にどうぞ！

● 県民カレッジ単位認定講座

【問い合わせ】 社会教育課（☎88-2698）



フォレストピア祭

日時 11月23日・24日
9:00～16:00

会場 フォレストピア階上

【問い合わせ】

フォレストピア階上 ☎88-4449

イベントコーナー

- 先着100名様「おしるこ」サービス 10:00～
- ふれあい講座「干し柿づくり」（テント内）
時間 9:30～13:00
講習料 1,500円
（柿50個「1串10個×5串分」と昼食付）
先着 10名
（講座に参加希望の方は申込が必要ですので必ずフォレストピア階上に申し込んでください。定員になり次第締め切ります。）
- 農産物共進会「ながいも・ごぼうの部」表彰式
11:00～ 2階研修室に展示しております。

※その他新鮮な商品をそろえておりますので皆様のご来店を心よりお待ちしております。

私の歩んだ道

ふるさと
 階上は私の第二の故郷

橋本 勇

26

昭和十九年五月の頃であった。幸いまだ私には召集令状が来なかった。

私は山の手にある小学校の身体検査のため階上村で差し向けた荷馬車に乗って、ガダゴド、ガダゴドと揺られながら道仏字榊の坂道を上っていた。当時は石ころ道で荷馬車が階上村の唯一の交通機関であった。

その時、同じ荷馬車に乗り合わせていたのが耳ヶ伏駐在所の田沢清造巡査であった。



◆鯛漁準備中の漁船。小舟渡漁港。

「どうして私の名前が必要なんですか」と尋ねると、「どうも日本が危ない。この俵では負ける。この際、階上村から陸軍に飛行機を一機献納させたい。ついては、その募金に先生の名前が必要なんです。先生がそ

階上町史によれば、田沢氏の勤務期間を一六・一・一〇〜一八・九・六とし、次いで吉田要次郎氏を一八・九・六〜二〇・二・七としている。文責者

彼は少々酒好きで、昨夜は駅前で飲み明かし、朝帰りのようであった。

榊の坂に差し掛った時であった。突然、「先生。先生の名前を貸してくれませんか」と話しかけてきた。

の募金に一千円を寄付すると言って宣伝したいのです。それで、先生の名前が必要なんです。別段、先生が実際にお金を出さなくても宜しいのですがどんなものでしょうか」「なるほど良い考えです。お国の為になるのなら私の名前を貸してあげてもいいです。一千円というと私にとっては大金ですが都合によっては一千円を出しましょう」と賛成し、約束をした。

飛行機一機は幾らするかは分からなかったが、恐らく四万円か五万円はするだろう。果たして、この貧乏な村で、それだけの募金が集まるか甚だ疑問であった。

また、飛行機一機でこの戦局を挽回できると思われな

い。しかし、何としても勝たねばならぬという誇大妄想的な信念は日本全体に漲っていた。

(写真と文責 正部家 奨)

ちびっこギャラリ

幼児・児童の作品



佐々木

誠くん
 (二年)
 赤保内小学校



「がんばった大玉ころがし」



鹿原

慧亮くん
 (二年)
 階上小学校



「ヘビのぬけがら大はっけん」

ふうやとの

浜辺の花

<162>

有谷 升

ハツカ(しそ科)

やや湿ったところに生える多年草、高さ三十センチ〜五十センチぐらい。メントールの香りで知られる野草。香料・薬用として栽培される。茎は四角で葉は長楕円形。葉や茎など全体に柔らかな毛が生える。秋、葉のわきから淡い紫色の花を輪生させる。

多くの古い書物にも、薄荷(ばか)・目草(めぐさ)などの名があるという。目が疲れたとき、葉をもんでこすると目がすつきりすることから、めぐましぐさ(目覚草)の名もある。確認するときには、葉を揉んでみると、あのさわやかな香りがする。



さわやかな香りがある

史記 西物

はしかみの かたりべ

◇107◇

正部家 奨/作・佐藤 明/画

九戸の乱と道仏城(四十五)

秋田、出羽勢の前進、蒲生軍の前進によって退路が断たれる事をおそれた櫛引河内清長は諸兵をまとめて九戸城に向かつて退却しました。

出羽の院内の城主、仁賀保挙誠は由利十二党の精鋭、即ち、赤尾津左衛門、矢島五郎、

岩谷朝繁、湯保治郎、滝沢政道、子吉兵衛、鮎川正重、石沢二郎、芹田重清、内越孫四郎、玉前式部、下村彦三郎のいずれも由利地方の館主を引率して伊保内街道から浄法寺街道に転出し、横手城主、小野寺義道、角館城主、戸沢盛



安、本莊城主、六郷政乗、本堂忠親、安内茂満、桜井茂次、秋田実季の諸軍と五日市(浄法寺西南約十六キロメートル)で会合し、八月二十四日の夕刻、同地で宿営して前面の敵情を偵察しつつ、蒲生軍と連絡をとって翌日の二十五日早朝に出発しました。途中ほとんど敵の抵抗を受けないことなく、夕刻には九戸城の西方に進出して陣地の割り当てを待ちました。

九戸方の福田、似鳥の諸隊が、鹿角方面に進出して秋田の諸隊を遠距離において阻止しようとした作戦はよかったのですが、時機ここに至って、援軍(豊臣軍)の主力部隊が沼宮内付近に到着し、既に退路を脅かされて、それが一日を加えられる毎に危険が迫ることが明らかでした。

櫛引清長が浄法寺から積極的に前進できなかったのもこのため、すでに姉帯、根反、岩波の諸城が陥落した現時点では成す手段がなく、出羽の諸隊がなんの抵抗も受けることなく鹿角街道に進出できたのは言うまでもありませんでした。